

No. 134

平成3年8月発行

(恩納村の人口)
 平成3年6月末現在
 人口 8,986(+11)
 男 4,627(+5)
 女 4,359(+6)
 世帯数 2,727(+3)
 () 内は前月比



村章



仲泊公民館



山城真重

昭和41年
 17代目区長 山城真重
 18代目区長 大城勝保
 区民数
 男性 504名
 女性 558名
 合計 1062名

平成3年
 23代目区長 古波蔵一雄
 区民数
 男性 619名
 女性 573名
 合計 1192名



古波蔵一雄



なつかしき日の公民館

10

仲泊



◎ 老人のぼけとは：

「ぼけ」という言葉はいろいろな意味に使われていますが、ここでは「老人の知能が異常に衰えてしまった状態」という意味で使います。

わが国の老人人口（65歳以上）はおよそ五〜六％（村の老人人口は十四％）と推定されています。その出現頻度は年齢とともに増加し、85歳以上の年齢層ではその人口のおよそ四分の一を占めるようになります。

老人のぼけについて

◎ ぼけの症状

記憶力や判断力、理解力などの知的能力が衰えたために、通常の日常生活が一人ではおぼつかないと危惧されるようであれば、たとえ何歳であろうとぼけの疑いは濃厚です。



◎ その原因と対応

また同じことを何回も繰り返して訊ねたり話したりするようになった場合、今まで普通にやれていた家事や仕事にミスが目立ってきたという場合も要注意です。

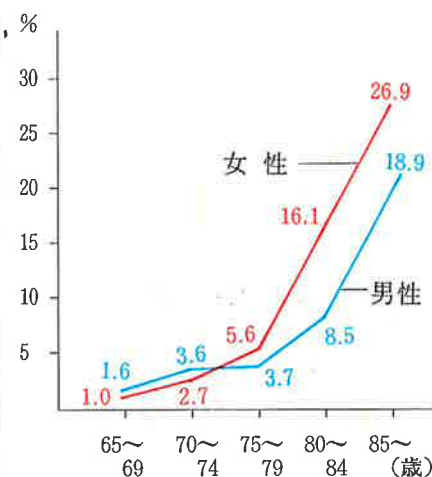
さまざまな脳の病気あるいは体の病気がぼけの原因になりますが、とくに頻度が多いのは脳血管障害（主として脳梗塞）とアルツハイマー型老年痴呆と呼ばれ

ぼけ老人に対する接し方の原則

- ① 老人の個性をのみ込んで、それに合わせる。
- ② 行動の正常化を求めるより、情緒の安定を先ず第一に。
- ③ 失敗行為をいちいち指摘しない。叱らない。
- ④ 命令調、高圧的な態度や、親が子供を躾ける時のような態度をとらない。
- ⑤ 保護的、受容的な接し方を原則とする。



● 年齢別、男女別にみたぼけ老人の出現頻度



◎ 治療や

予防は・・・

世話の仕方によって大きく左右されます。老人との上手な接し方、上手なお世話の仕方を工夫することが非常に大切です。

それは、複雑な原因にもよりますが、個々の症状に合わせて適切な治療が必要です。ただ、向老期からのごく一般的な健康管理、たとえば高血圧などに対する注意、摂生と適度の運動というようことは、ある程度ぼけの予防につながるものです。



中全リレー



幼稚園児によるかけっこ

小学校3、4年生による障害物競争



夏空に響く太鼓

七月七日、仲泊小中学校では、村内でいちばん早い運動会が行われました。かけっこ、障害物リレー、組み体操、小学校五、六年生によるエイサー、全中生によるフォークダンス、中全リレーなど、父母からの熱い声援が夏空に響いて

人道雲とおいかげっこ 仲泊小中学校真夏の運動会

暴力団の侵入許すな 村民総決起大会



決意表明を述べる當山和子婦人会長

県内における組織暴力団による対立抗争は、県民に大きな危険と不安をもたらしています。現在、県民と警察が一体となった強力な取り締まりと暴力団排除運動によって鎮静化の状態にあります。根絶には至っていません。我が村において過去に暴力団によるアジト建設の動きがありました。村民と警察が一体となって反対運動を展開し、侵入を阻止することができました。法と秩序を無視し、反社

会的行動をとる暴力団の侵入を阻止し、撲滅しようとして、七月三日、コミュニティセンターにおいて「暴力団浸入阻止恩納村民総決起大会」が開催されました。大会には、村婦人会、企業関係者など三百人余が参加、比嘉茂政村長のあいさつの後、婦人会、青年団の

代表が決意表明、宮平安徳議長による大会宣言文が読みあげられました。大会後、コミュニティセンターから役場前までの区間をパレード、暴力団の村内侵入を断固阻止し、明るく住みよい社会をつくらうとアピールしました。



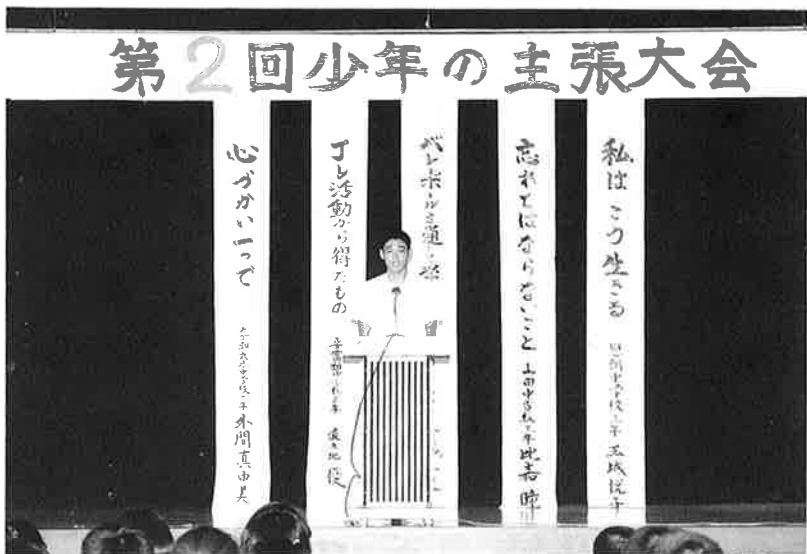
コミュニティセンターから役場前まで

金城正道君最優秀賞に輝く

第二回少年の主張大会

バレーボールを通して学んだこと

仲泊中学校三年 金城正道



試合の後に満足感が残ると話す 金城正道君

バレーボールというスポーツに出合わなかったら、今頃僕は何をしていたのだろうと最近よく考えます。僕とバレーボールとの出会いは、小学校五年の末、クラブに入ったことが始まりです。ボールをさわったこともなく、テレビでしか見たことがないのに、できるかどうか不安でいっぱいでした。でも父や母に、「自分でやりたいと思うなら、最後まで続けなさい。」と言われ、「よし、やれるところまではやってみよう」と心に決めたのです。

はじめのうち、基礎練習、上手パス、下手パス、スパイクの練習など、ぼくはもちろんなんな下手で、ボー

とところが大会が近づくにつれ、練習も倍ぐらいいきつくなると、やめる人が出始めました。僕も「こんなについついならやめたいな」という気持ちになりかけましたが、「ここでやめたら次は何をやればいいのか?」と思うと、とてもやめることはできませんでした。

六年生になった頃、僕達のバレーボールは中頭地区でも通用するようになり六月の「全日本小学生バレーボール沖縄地区大会」で三位、九州大会へ出場し、こどもでも三位になりました。発足してから一年間で、ここまでできるとは思っていませんでした。あの時の嬉しさは、今でも忘れることができません。

それで、中学生になっても、まよわずバレー部に入部、小中併置校なので、願

少年たちが家庭、学校、

地域の中で日頃考えていることを主張を通して、社会一般に広く認識し、少年期に対する理解を深めることを目的に、恩納村青少年健全育成協議会(比嘉茂政会長)主催の少年の主張大会が、七月十日仲泊小中学校体育館で行われました。

結果及び主張者は次のとおりです。

- *最優秀賞 金城正道(仲泊中三年) 「バレーボールを通して学んだこと」
- *優秀賞 玉城悦子(恩納中三年) 「私はこう生きたい」、比嘉瞳(山田中三年) 「忘れてはならないこと」、渡久地優(安富祖中三年) 「J活動から得たもの」、外間真由美(喜瀬武原中三年) 「心づかい一つで」

問の先生も同じまま、きびしい練習が続きました。中学生ともなると、身長も伸び、体もつき練習試合も多くなり、僕達の力はだんだん強くなっていきました。一年生の時の中体連中頭地区大会で、二勝してベスト8、県大会は沖縄各地区から選ばれてきたチームばかりです。「ここまでできたのだから、あとは自分達のできるだけの力を出してこい」との監督の言葉に、先輩達も、心を打たれたのか、どんどん勝ち進み、ベスト4に入ったのです。

そして今年、二年生になったの中体連中頭地区大会で僕達は去年と同じベスト8で、県大会に出場することになっていました。今、僕達は先輩方よりワンランク上を目指して練習に励んでいます。

この大会が最後の大会であっても、僕は石川高校へ進学し、バレーボールを続けたいし、社会人になって

れる職業につきたいと思っています。

これほどまでに僕をひきつけるバレーボールとの魅力は何だろうと考えてみると、やはり試合です、強いチームに対戦するときなどは、恐れずに自分の力を出せばいいと思うし、相手チームと競い合い緊張するあの時が、たまらなく好きです。バレーボールを通して僕は、いろいろな事を学びました。何もできなかった僕が、ここまでこれたのは練習を続けてきたからです。「継続は力なり」ありふれた言葉ですが、実感できるのです。

又、チームワークの大切さです。どんなにうまくても一人でプレーはできません。ともすればくじけそうになる辛い練習も仲間がいるから乗り越えられたと思うのです。今、僕は生徒会長をしています。生徒会行事の準備や運営などで忙しい時には練習時間が短くなること

生徒会活動もバレーボールも同じような気がします。

きつい練習のあとの試合では、たとえ負けても精一杯やったという満足感が残ります。生徒会でも、行事を成功させるには、それなりの準備や時間がかかります。でもあせらず一つ一つ仕事をこなせば、必ず成功させる事ができると確信しています。

謙虚に、あせらずに一つ一つこなしていく、これが僕がバレーボールを通して学んだことです。これまで僕を支えて下さった監督や先生方に心から感謝しています。



8月19日はバイクの日です

第二次交通戦争といわれる現在、若者の無謀な運転による事故が

依然として後を絶ちません。

バイクは、まわりの風景を楽しんだり、風を感じたりできる乗り

物です。しかし一つ間違えば、取り返しのつかない事故につながり

やすく、危ない乗り物になってしまうことは確かです。

交通ルールを守ることは、「交通社会人」

としての義務です。



真栄田Aチーム優勝を飾る

第九回壮年バレーボール大会



3年ぶり6度目の優勝を果たした真栄田Aチーム



準優勝仲泊Aチーム



恩納チーム優勝

第八回婦人バレーボール大会

村婦人会主催(富山和子会長)会員八〇〇名の第八回村婦人会バレーボール大会が六月三十日、安富祖中学校体育館で行われました。



バレーボールを通して、スポーツ活動の楽しさを味わい、健康・体力づくり運動を目的に、併せて婦人会員相互の親睦を図ることを目的に十四チームが参加熱戦を繰り広げました。

試合は、トーナメント方式で九人制ローテーションを取り入れ、珍プレーあり、好プレーありの楽しい雰囲気の中でさわやかな汗を流しました。

なお、結果は次のとおりです。

- 優勝 恩納チーム
- 準優勝 安富祖チーム
- 三位 仲泊チーム
- 塩屋チーム

平成三年度

「農地を有効利用する運動」について

に防止しましょう。

一、はじめに
近年の農業事情は、牛肉果実(パイナップル等)農産物の輸入自由化をはじめ、平成六年には、さとうきびの品質取引等、大変厳しい状況の中にあります。又、農業者の高齢化や農業担い手不足等、解決すべき多くの課題に直面しております。

- (イ) 優良農地の転用はさげ、優良農地以外のとの交換等によって、優良農地を確保しましょう。
- (ロ) 農地法に対する認識不足や違法を知っての悪質な無断転用を未然

- 三、農地の流動化について
- (イ) 農家の高齢化、兼業化等による遊休農地は、農地利用増進事業で担い手農家利用をしましょう。
- (ロ) 農地を農地として利用させ、利用するため、



売りたい、買いたい、貸したい、借りたい方は、農業委員か村役場農業委員会へご相談ください。

こうした状況において、魅力ある農業経営を早急に育成し、確立するには、農地の荒廃、優良農地を守り、担い手への農地利用の集積を促進するためこの運動を推進します。

二、農地法の厳正な実施と優良農地の確保をしよう。

- (イ) 農外資本等の投機的な農地の先行取得で客観的に農地等の引渡し行為があった場合には



四、農地の転用について

- (イ) 農業振興地域内の「農用地域」内に住宅や墓などを建築しようとする場合は、原則として転用許可はできません。
- (ロ) 農地転用申請から許可までは、通常三カ月を要しますので、余裕をもって申請してください。

クリーン作戦で豊かな自然環境を守り育てよう

環境美化に一役

六月二十九日、恩納村建設業者会へ(仲宗根光夫会長)は、各社から二人以上三十人余が参加し、草刈り、空き缶空きびん拾い等、これからの夏場を迎え、観光客の訪れる真栄田岬一帯の清掃を行いました。

恩納村心豊かなふるさとづくり推進協議会



わが家 宗 西村



行方不明の人をさがす月間（八月～九月）

あの人は、いま、どこに！

行方不明者をもつ家族のなかには、「連絡のあった息子から、急に連絡が途絶えてしまった」などと心配しつつ、相談する相手もなく、さがす方法すら分からないまま、ひそかに悩んでいるというケースが多いようです。

みなさんのまわりで、突然行方がわなくなったり方々長い間連絡がない方はいませんか。

全国の警察署では年間を通じて、いつでも身元確認の相談を受け付けておりま



すので、お気軽にご相談ください。

石川警察署刑事防犯課
TEL 九六四一〇三二
内線 三三三・三六

観光週間 8月1日～7日
—『ごみは持ち帰る』が観光のルール—

「ごみのごみをよぶ 心理的な連鎖反応

ごみ箱がいっぱいなのに、それでもまだごみが捨てられ、「ごみ箱のまわりがごみの山」なんていう光景をビーチ添いでよくみかけます。これが『ごみのごみをよぶ』現象です。

「ごみのあるところは、ついポイとごみを捨ててしまいがち」というものが人間の心理というものです。たった一人の人がごみを捨ててしまったために、観光地がごみだらけになってしまっているのです。

「基本的にごみは持ち帰る」というのが、社会のルールです。観光地の景観を損なわないためにも、ごみ箱があってもなるべくごみは持ち帰るようにしましょう。観光気分を満喫したいもの



水がピンチ

水の日（8月1日） 水の週間（8月1日～7日）

「水は安く、て無尽蔵にあるもの」という考えを改め、「水は限りある資源」であることを、この際、もう一度認識しましょう。

水は、わたしたちの暮らしに欠かせない大切な「生命の源」です。そして水は、限りある貴重な資源なので



**忘れていませんか
あなたの健康診断**

健康診断はもうお済みですか。「健康診断を受けようと思ったらすでに実施された後だった……」なんてことありませんか。このような場合、次回の受診場所、もれ者検診を利用し、年に一度は定期的に健康診断を受け、自分の健康状態を把握しましょう。

なお、各字での受診日は表のとおりです。忘れずに受診して下さい。

住民健診日程表

| 月 日 | 字 名 |
|---------|-------|
| 8月1日（木） | 谷 茶 |
| 15日（木） | 仲 泊 |
| 16日（金） | 〃 |
| 19日（月） | 富 着 |
| 21日（水） | 前 兼 久 |
| 9月2日（月） | 山 田 |
| 4日（水） | 真 栄 田 |
| 5日（木） | 塩 屋 |
| 9日（月） | 宇 加 地 |



● 道の日（8月10日）・道路をまもる月間

道は人とともに伸び、生活とともに変わってきた

わたしたちの家を一步出ると、そこには道があります。仕事に行ったり、買い物に出かけたり、毎日通るところです。道は、あって当たり前、空気みたいな存在といえるでしょう。

▶ **情報や技術、思想なども通る重要な役割**

道は、古くから人類にとって、重要な役割を果たしてきました。なかでも、世界の歴史に代表されるシルクロード（絹の道）は、東洋と西洋の人・物・文化が行き交ったばかりでなく、情報や技術、思想や伝統が、この道を通っていきました。そして、新しい文化も誕生したのです。

日本にも、このような道がありました。江戸時代、参勤交代のためにつくられた東海道、中仙道、日光街道、甲州街道、奥州街道の5街道です。こうした道を通り、江戸の物や文化が上方に、上方の物や文化が江戸に伝わったのです。現在、国道何号と呼ばれる日本の幹線道路の基礎は、これらの道を整備したものです。

▶ **安心して気持ちよく歩ける道づくりが進行中**

一方、道は気軽に散歩、立ち話ができる場所でもあります。いま、国はこの空間にゆとりをもたせ、楽しめる場所にしようとしています。これを「コミュニティ道路」と読んでいます。歩道を広くしたり、花や緑を植えたりするほか、気持ちよく歩けることを考えた道づくりが始まっています。

8月10日は「道の日」、そして8月は「道路をまもる月間」です。毎日通る道の過去、現在、未来を、家族で話し合ってみるのもいいでしょう。

